

8-1:題材決定 提出物

■アプリケーション名

あゆみ(AYUMI – Analytics for Your Understanding, Monitoring, and Improvement)

■開発理由・目的

福祉事業所において、利用者の「通所・退所記録」「生活リズム(日々の体調や行動記録)」を支援員が紙やExcel、スプレッドシートで管理しているケースが多い。

この方法では以下の課題がある:

- ・情報が分散し、面談やモニタリング時に必要なデータをすぐに取り出せない
- ・記録作業が煩雑で、支援員の負担が大きい
- ・利用者自身が自分の生活リズムや出席率を振り返る機会が少ない

そこで、「通所・退所管理と日報をクラウド化し、支援員と利用者が双方で活用できるシステム」を開発し、
・支援員の業務効率化および個別支援の質向上
・利用者の自己理解および生活改善支援
を実現することを目的とする。

■背景

既存の福祉事業所向けシステム(例:ノウビー、かべなしクラウド等)は「請求・加算管理」に強みがある一方で、利用者の生活リズムや日報を日常的に活用する仕組みは弱い。

一方、現場の支援員は個別支援の質向上のために「日々のちょっとした変化」を把握したいニーズが強く、利用者自身も「自分の通所状況や体調の可視化」を求める声がある。

本アプリケーションは「請求管理ではなく、個別支援・生活改善に直結するデータ活用」を狙いとし、既存システムとの差別化を明確にする。

■何ができるアプリケーションかの説明

○通所・退所の打刻管理

利用者や支援員が簡単に出退所を記録。出席率を自動集計。

○日報入力・セルフモニタリング

利用者が体調・睡眠・食事・活動内容などを簡単入力。支援員も記録可能。
グラフで可視化し、面談資料として活用可能。

○支援員ビュー(面談用ダッシュボード)

利用者の直近7日・30日などの出席率や生活リズムを一目で把握。面談や記録業務の効率化。

○管理者用KPI表示

事業所単位での出席率や活動状況を集計し、CSV出力可能。会議資料・監査対応に活用できる。